

『声かけ』

学習時の教師の声かけは、子供の様子をよく観察して、使用する言葉の選択、それを発するタイミング、声のトーンなどを考える必要があります。これらは声かけによる援助の重要なポイントです。使用する言葉は、学習への意欲を高め、子供の心理的な安定が得られるものを心がけましょう。禁止や命令、否定的な言葉は使用しないことが大切です。

伸ばした手や話そうとしていた言葉を引っ込めたり、前向きな視線を下げたりするような反応を起させないように、声かけのポイントを整理します。

声かけのタイミングは、早すぎず、遅すぎず、最も良いときに行いましょう。声かけの回数、話す速さ、声の大きさにも留意して子供一人一人に効果的な声かけを見つけましょう。

例えば、子供が提示された教材を見て「これでいいのかな？」と迷っている時、タイミングよく「そうだね！」「それでいいよね！」という声かけがあれば、「これでいいのだ！」と子供も安心して手を伸ばすなど学びを自分から進めようとしています。

声かけは、誤学習や誤認識させない援助の一つであり、適応的な反応を強化するものとして大切な手立ての一つとして捉えることが大切です。

例えば、「ここを見てください」と視線を誘導して子供が見たとき、「今見てるね！」「注目できているね！」と声かけ（肯定の注目）をすると、「見ること」が分かったり、「見ること」が強化されたり、視知覚や視認知機能も向上していきます。

毎日実行されている学習時の教師の声かけ。

声かけは一丁目一番地の専門性です。

みんなで声かけの質を伸ばしていきましょう！

本年度の努力目標の一つ	教育活動の行動計画の一つ
○安心安全な教育活動の展開と環境の整備	・授業者は、児童生徒が情報や行動の選択を引き出す指導はできているか。

がんばる子供たちに、豊富な手立て、指導方法の工夫で応えたい！